



報道機関各位



平成31年 1月18日

室蘭開発建設部 広報官

表彰団体決定！「わが村は美しくー北海道」運動 ～第9回コンクールの優秀賞13団体、奨励賞21団体が決定～

北海道開発局は、「わが村は美しくー北海道」運動（以下「わが村運動」）第9回コンクールを開催し、全道61団体（59市町村）の応募の中から、選考の結果、農山漁村における地域の活性化や個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動として、優秀賞13団体、奨励賞21団体を表彰することに決定しました。

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村がより「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見だし、これを広く発信し、波及させていくことによって、農山漁村の振興に寄与することを目指し、平成13年から2年に一度、開催しています。（別添参照）

なお、来年度は、今回、表彰された全道の優秀賞の中から大賞を決定します。

室蘭開発建設部管内からは、当コンクールに4件の応募があり、優秀賞1団体及び奨励賞1団体の合計2団体の表彰が決定しました。（別紙1、別紙2参照）

表彰授与式は、当建設部管内で実施します。

なお、日時及び場所については、決まり次第、別途、お知らせします。

【「わが村は美しくー北海道」運動とは】

わが村運動は、地域住民が主体となり、北海道の農山漁村・農林水産業を通じて地域づくりを行う活動に対して、様々な人たちが「参加しよう」、「広げよう」、「いいもの伝えよう」をキャッチフレーズにこうした活動にかかわっていかうとするもので、平成13年から行っています。



「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、ホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 電話 0143-25-7049

土地改良情報対策官 小笠原 章仁 （内線327）

室蘭開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>



「わが村は美しくー北海道」運動とは

Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることをめざし、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援

【景観】 地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動

「景観」の形成

魅力ある活力に満ちた北海道

「地域特産物」のブランド化

活発な「人の交流」づくり

【地域特産物】

地域で生産される農林水産物及びそれらを主として利用した加工品の生産販売活動

【人の交流】

地域の魅力を高めるコミュニティづくりに結びつく都市及び地域内外の人たちとの交流活動

多くの方の協力と連携により運動を推進

支援・応援

北海道田園委員会

学識者、民間企業、報道機関
地方自治体、生産者団体、実践者

- 運動の推進のため、国土交通省北海道局に設置
- 道内外の有識者で構成
- 運動の円滑な推進に対する提言

第8回コンクール大賞受賞団体

北海道幌加内高等学校【幌加内町】

「そば」を活用した学びを通して、人づくりと地域づくりをうまく結びつけた活動に取り組む



十勝パンを創る会【帯広市】

「十勝パン」ブランドの確立を目指して、地域に根差した商品の開発に取り組む



- 参加しようー中心となるのは、地域に住む人々
 - 広げようー活動の輪を大きく、自由に
 - 伝えようー北海道の「いいもの」を、もっと外へ
- 「地域の資源」を見つけよう
地域の個性を競い合い高め合い
地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

第9回「わが村」運動 コンクール

活動団体

↓ 応募(全道から61団体)

(1年目)
現地調査、優秀賞・奨励賞の選考

↓ ・ブロック毎に応募団体の現地調査、及び審査を実施し表彰団体を選考
・優秀賞団体、奨励賞団体を決定

表彰式

(2年目)
大賞の選考

↓ ・各ブロックの優秀賞受賞団体の中から大賞団体を決定

大賞表彰式

H30年度

H31年度

多くの人に伝えるための取組

- HPへ掲載 http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ky/nou_sln/ud49g7000000emhm.html
→活動団体の最新情報を広く発信
- メールマガジンの配信
→活動団体への情報提供
→活動団体の最新情報を発信
- JR北海道の車内誌
→「THE JR Hokkaido」への掲載 (JR北海道の協力)
- 地域イベントで活動PR
→地域イベントに参加し 団体活動を紹介
- 札幌「チカホ」でPR
→デジタルサイネージで放映 (札幌市の協力)
- facebook(フェイスブック)の取組 <https://www.facebook.com/wagamura>
→活動団体の最新情報を広く発信 (NPO わが村は美しくー北海道ネットワークとの共同運営)





平成 31 年 1 月 18 日
北 海 道 開 発 局

「わが村は美しくー北海道」運動第 9 回コンクールの表彰団体を決定
～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～

「わが村は美しくー北海道」運動では、平成 13 年から 2 年に一度コンクールを開催しており、今年で 9 回目となります。

今回のコンクールには、全道から 61 件（団体）の応募があり、審査の結果、優れた活動として優秀賞 13 団体、奨励賞 21 団体を表彰することとしました。

表彰式は、本日以降、随時、表彰団体の応募先である各開発建設部ごとに行う予定ですので、該当する開発建設部土地改良情報対策官にお問合せください。

1. 第 9 回コンクールの応募状況等について

(1) 応募件数

全道 59 市町村から 61 件（団体）の応募

(2) 審査経過

平成 30 年 3 月～ 6 月 募集

平成 30 年 7 月～ 11 月 全道 10 ブロック※での現地調査

（ブロック審査委員会による全応募団体の現地調査）

平成 30 年 11 月～ 12 月 ブロック審査委員会での審査

（現地調査の結果から、表彰団体の選考）

※各開発建設部の所管を 1 ブロックとしている。

2. 表彰団体について

(1) 優秀賞（北海道開発局長表彰）[13 団体]

- ▶ 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会 加工部会（江別市）
- ▶ 特定非営利活動法人 サトニクラス（月形町）
- ▶ 一般社団法人 i・スマイル（今金町）
- ▶ 北海道真狩高等学校（真狩村）
- ▶ ふらのカレンジャー娘（富良野市）
- ▶ J A とまこまい広域 厚真町ハスカップ部会（厚真町）
- ▶ 北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班（中標津町）
- ▶ 歯舞地区マリビジョン協議会（根室市）
- ▶ 特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会（鶴居村）
- ▶ 北海道士幌高等学校 乳加工専攻班（士幌町）
- ▶ 網走川土地改良区（美幌町）
- ▶ 株式会社 SOUL OBIRA（小平町）
- ▶ 豊富温泉コンシェルジュ・デスク（豊富町）

(2) 奨励賞（各開発建設部長表彰） [2 1 団体]

- ◇札幌ブロック [3 団体]
 - ・株式会社ふるさとファーム（札幌市）
 - ・江別酒米栽培グループ「すいせい」（江別市）
 - ・千歳市グリーン・ツーリズム連絡協議会（千歳市）
- ◇函館ブロック [3 団体]
 - ・谷観光農場（北斗市）
 - ・七飯の食を考える会（七飯町）
 - ・素敵な過疎づくり株式会社（厚沢部町）
- ◇小樽ブロック [1 団体]
 - ・ワインを楽しむ会（余市町）
- ◇旭川ブロック [3 団体]
 - ・第746なよろ煮込みジンギス艦隊（名寄市）
 - ・中川町商工会（中川町）
 - ・占冠村木質バイオマス生産組合（占冠村）
- ◇室蘭ブロック [1 団体]
 - ・北のなのはな会（安平町）
- ◇釧路ブロック [1 団体]
 - ・一般社団法人 音別ふき蔭団（釧路市）
- ◇帯広ブロック [3 団体]
 - ・北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用班（帯広市）
 - ・北海道士幌高等学校 環境専攻班（士幌町）
 - ・株式会社 なまら十勝野（芽室町）
- ◇網走ブロック [2 団体]
 - ・北海道東藻琴高等学校 農産加工班（大空町）
 - ・小清水町ルバーブ生産グループ（小清水町）
- ◇留萌ブロック [2 団体]
 - ・るもい農福連携推進協議会（留萌市）
 - ・上築有機米生産組合（羽幌町）
- ◇稚内ブロック [2 団体]
 - ・ワラベンチャー問寒クラブ（幌延町）
 - ・稚内農業協同組合 稚内牛乳（稚内市）

（受賞団体名は順不同です）



厚真産ハスカップの栽培風景

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

JAとまこまい広域 厚真町ハスカップ部会

【厚真町】

地域限定資源による農業活性化活動

はじめは？

厚真産ハスカップの栽培農家戸数は、栽培が始まった1980年代の約100戸から一時56戸まで落ち込みましたが、甘みが強い独自品種開発及び栽培等により、ハスカップ農家数が増え、現在、作付日本一となり、ハスカップ果実のほかにハスカップを使用したジャム、ゼリー、菓子等の加工商品として提供しています。また、現在はハスカップドリンク等の商品開発やハスカップを使用した料理教室の開催、地元中学校によるハスカップパフェの開発など地元の取組も広がっています。

おもな活動

多くの方々に厚真産ハスカップを知ってもらいたいという思いから、消費拡大と併せ、地域振興のため、地域ブランド確立に向けた商品販売や各種PR活動を展開しています。



厚真産ハスカップと加工商品

ここが自慢

【地域限定ハスカップ品種】

現在、厚真町のハスカップは、栽培面積日本一の生産地となっています。日本でのハスカップのうち「あつまみらい」と「ゆうしげ」の二品種は、厚真町でのみ栽培できる地域限定品種です。

本団体は厚真産ハスカップの販売振興及び産地PRなどのため、対面販売・各種イベント・物産展への出展と共に冷凍ハスカップの賞味期限標記調査を実施するなど、遠方への販路拡大及び生産量拡大に向けた取組も併せて行っています。その結果、東京のレストランで使用されるなどの効果が現れてきています。



厚真町の地域限定品種

連絡先

代表者名：長谷 誠良さん／設立：1980年／会員：104名

住所：勇払郡厚真町錦町10番地2

電話番号：0145-27-2241（問合せ 川原 拓也）

FAX：0145-27-3957

E-mail：－

URL：－



広大な菜の花畑風景

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

北のなのはな会

【安平町】

こだわりの地産地消活動

はじめは？

平成19年にバイオ燃料に興味を持った町内の農家数名が集まり勉強会を発足し、再生可能エネルギー資源、観光、特産品として「菜の花」が新たな可能性を秘めていると考え、平成21年に栽培を開始、研究を進めました。

その後、平成22年に「北のなのはな会」を立ち上げ、「畑のスイーツ（菜の花はちみつ）」や「畑のしずく（なたねサラダ油）」の商品化を手掛け、現在は「サボン・デ・コルザ（はちみつ入り菜の花石鹸）」等のコスメ販売・開発を手掛けております。

おもな活動

現在の北のなのはな会の活動としては、安平町の新たな観光地化、特産品の開発、菜の花残渣を用いたバイオマス燃料（バイオコークス）利活用の研究を主な取組とし、食育教育の推進、菜の花関連団体との交流・情報交換を行っております。



菜の花の様子

菜の花と関連主商品

ここが自慢

【地元へのこだわり】

地産地消の推進、地元産にこだわり、生産された食材を地域の方に食べていただき、知ってもらいたい思いから、地元小中学校や社会福祉法人などにも商品を提供し、消費拡大へとつなげると共に地域振興のため、各種PR活動を展開しています。

また、あびら観光協会と協力し、菜の花が満開となる時期に合わせてフォトコンテストを開催するほか、平成29年から「安平町菜の花さんぽ」を開催し、多くの観光客が訪れるようになりました。今後も安平町の新たな観光資源となることを目指す取組を進めています。



安平町菜の花さんぽ

連絡先

代表者名：小西 克典さん／設立：2010年／会員：3名

住所：勇払郡安平町追分美園534番地

電話番号：0145-25-2391

FAX：－

E-mail：kitanonohanakai@ybb.ne.jp

URL：http://k-nanohana.com